

県政ビジョン策定に係る主な意見
【県政ビジョン策定有識者委員会（東京地区）】

No.1

関連分野	意見内容等
地域づくり	<p>【増田委員(東京大学公共政策大学院客員教授)】 鹿児島市の優位なところを県内全体にどう広げ、他都市との連携や、離島の生活利便をどう支えていくのかなどに更なる工夫が必要。</p> <p>【根本委員(東洋大学大学院経済学研究科教授)】 鹿児島市が頑張っていることが、鹿児島県にとって最大の強み。鹿児島市という拠点があることによって、せき止め効果が生まれ、全体が守られているという発想と、周辺の他の地域との役割分担が必要。</p> <p>【金丸委員(フューチャー株式会社代表取締役会長兼社長グループ CEO)】 ハイテク化の逆転の発想のハイブリッドの戦略として、外の人たちから見て付加価値がある地域に県有地でもあれば、住環境と教育まで一貫性があるような戦略地域として、有効活用できる。</p>
若者等の地元定着	<p>【増田委員(東京大学公共政策大学院客員教授)】 夏休みなどの休暇期間中に、商工会議所や企業がインターンシップに最大限協力する環境が必要。</p> <p>【金丸委員(フューチャー株式会社代表取締役会長兼社長グループ CEO)】 どこにいても、高等教育や大学教育がインターネットを使って受けられるようにすれば有効。</p> <p>【須江委員(滋賀大学理事兼副学長)】 県内で働きたい大学生を増やすには、県内に本社機能があって活躍する場の柱がいくつか立っていて、そこで働きたいという目標となり得るモデルの存在を目に見えるようにすることが必要。</p>
UIターンの促進	<p>【増田委員(東京大学公共政策大学院客員教授)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 30代40代の年齢層で戻れる成功モデルを作れると強い。地方の場合、保育料減免などで子育て環境はいいと思うが情報発信が弱い面もある。 ・ 地方都市への思いを持っている人たちに対する働きかけを行政や企業など、各層で行っていくことが必要。

関連分野	意見内容等
U I ターン の促進	<p>【金丸委員(フューチャー株式会社代表取締役会長兼社長グループ CEO)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 故郷に戻って貢献しようという人を増やすには、戻ったときのイメージーションが湧くような戦略をストーリーとして持つことが必要。 ・ デンマークは、グローバル人材が一定期間海外に出ても、子どもが生まれたときデンマークを選んでもらえるよう、IT教育に力を入れている。 <p>【根本委員(東洋大学大学院経済学研究科教授)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕方なくではなく、希望を持って帰る、心理的なインセンティブを加速させる別な付加価値の見せ方は、県にもできることがある。 ・ 薩摩、島津の、若い人を大事に育てるという伝統に立ち返り、出て行った若手、戻って来た若手を大事に育て、若い人たちに活躍してもらおうべき。 <p>【須江委員(滋賀大学理事兼副学長)】</p> <p>一回県外に出ても、家族形成をする30代くらいの方が戻って来られるような、子育てや教育の環境を用意することが必要。</p> <p>【宮崎委員(千葉商科大学国際教養学部教授・学部長)】</p> <p>保育所がハイスペックで整っているところ、教育の良いところなら、女性は子どもを連れて引っ越して来る。</p>
教育・人材育成	<p>【増田委員(東京大学公共政策大学院客員教授)】</p> <p>AIやロボットが代替可能な職業が多いので、どこに集中投資し、人材の質を高めるかの絞らないと、全部時代遅れになってしまう。大学教育で獲得すべきことをよく見極めて、子ども達の希望を叶えていくことが必要。</p> <p>【金丸委員(フューチャー株式会社代表取締役会長兼社長グループ CEO)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国家戦略として、グローバル人材育成と同時に、自国がいかに素晴らしいかという教育をワンペアで行っているデンマークに学び、ハイテク先進県になると同時に文化と歴史も共に重んじるべき。 ・ 農林水産業にポテンシャルの高い鹿児島県の経済の発展に貢献するため、鹿児島大学が考えている大学の改革プランを聞きたい。

関連分野	意見内容等
教育・人材育成	<p>【宮崎委員(千葉商科大学国際教養学部教授・学部長)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 若い柔軟な感性のうちに、大いに世界中で勝負して、その後、やりたいことは、AI・IoT・5Gという時代、どこにいてもできるから、それから故郷に帰ろうという形で帰ってくるのが美しい。 ・ 自分たちに誇りを持てるような教育をして、学んで、十分外を見て、やはりここだと、軸足を置いてもらえるような政策の検討が必要。
観光・鹿児島ブランド・産業振興ほか	<p>【増田委員(東京大学公共政策大学院客員教授)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ インバウンドの増加には、鹿児島だったらこれだと拠って立つものを、皆で見つけ出し、残し、発展させていくことが重要。 ・ 地域商社を作って、外部人材を活用し、外に売るやり方も有効。 ・ 5Gの効果は、驚くほど多方面に波及し、リアル店舗を持つ意味など、相当な吟味や淘汰が始まるだろう。 <p>【金丸委員(フューチャー株式会社代表取締役会長兼社長グループCEO)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Wi-Fiを最も整備している観光県になり、インスタグラムのスポットとして、グローバルコンテンツである西郷どんを活かすなど、Wi-Fi環境が当たり前の海外へも西郷どんをグローバルに活用。 ・ 強い農林水産業をハイテク化して、農作物の一位の輸出県になるのは割と近いターゲット。 ・ 人口が減少しても、今のハイテクを使えば相当競争力のある地域になる可能性はある。 ・ 県内にセンサーを張り巡らせれば、色々なデータが上がってくるので、是非、検討を期待。 <p>【根本委員(東洋大学大学院経済学研究科教授)】</p> <p>黒酢や黒豚、焼酎が急激にブランド商品として出てきたように、何か資源を発掘して、上手に育てれば、まだまだ色々可能性がある。</p> <p>【須江委員(滋賀大学理事兼副学長)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 奄美や屋久島は世界ブランドになりうるが、滞在型宿泊施設が少ないので、国有地や県有地を利用し民間投資を募る取組は有効。 ・ 海外市場に売るなら何分の一かは海外で売る覚悟で取り組む方が、規模拡大と生産効率向上により、所得が上がる。

関連分野	意見内容等
観光・鹿児島ブランド・産業振興ほか	<p>【宮崎委員(千葉商科大学国際教養学部教授・学部長)】 単なる観光でなく，教育，それもアクティブラーニングの場として鹿児島を提供することによって交流人口を有効に使うことができる。地域イメージの向上にも役立つ。</p>
環境・エネルギー	<p>【須江委員(滋賀大学理事兼副学長)】 奄美・屋久島などで観光振興を図る際，離島の環境を守るため，電気自動車や燃料電池車を全面導入する試行的な拠点を整備。</p>
社会基盤整備	<p>【金丸委員(フューチャー株式会社代表取締役会長兼社長グループ CEO)】 10年後を視野に入れるなら，基本戦略の礎は，5Gの通信速度。</p> <p>【根本委員(東洋大学大学院経済学研究科教授)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 重要度に応じた，土木インフラのリスクベースメンテナンスが必要。 ・ 従来型の発想でなく，今のテクノロジーを入れて，なるべくアセットを増やさない管理をやれば，経済の浮揚にもつながる。 <p>【宮崎委員(千葉商科大学国際教養学部教授・学部長)】 屋久島と世界自然遺産登録を目指す奄美をつなぐ交通インフラは必要。安いインフラがあれば交流人口ができるLCC効果は証明されており，整備が必要。</p>